



古志原小だより

令和7年12月22日

その8 校長 岩井

秋見つけ



1年生は11月上旬、運動公園で「秋見つけ」を行いました。この日は大変天気もよく、こどもたちは公園にある落ち葉や虫など自然に触れながらたくさんの発見をすることができました。友だちと一緒に活動したり、お弁当を食べたりして、身の回りの秋を満喫していました。

町のすてき発表会



2年生は2学期に入りボランティアのみなさんにお世話になりながら、古志原地区の町探検に出かけました。たくさんの場所をグループごとに回りましたが、そのまとめの発表会を行いました。グループごとに自分たちが見学した場所について、気がついたこと、発見したことなど伝えあいをして、古志原の町の魅力について知ることができました。

消防士さんのお話



3年生は社会科の学習で松江南消防署の職員の方々をお招きし、町を守ることにについて学びました。はじめに座学で消防署について教えていただき、消防署職員のみなさんが町を守るために心がけていること、苦勞していることなどお話を聞かせていただきました。その後、校庭に消防車が入り、目の前で消防車の仕組みなど教えていただきました。こどもたちは、普段近くで見ることのない消防車の計器などを、興味いっぱいの目で見学することができました。消防署の職員の皆様、ありがとうございました。

手作り弁当の日



12月8日(月)は「手作り弁当の日」でした。古志原小学校伝統の行事で、この日は給食が無く自分でお弁当を準備します。こどもたちはいつもの荷物にひとつほど多くなりますが、うれしそうにランチバッグを持って登校してきました。弁当全部を自分で作るパターン、おかずの一部を自分で作るパターン、おうちの方と一緒におかずを作るパターン、弁当箱に詰めるパターンなど、それぞれの取り組み方でお弁当を準備してきました。「今日、朝早く起きて準備したから眠たい」と言いながら嬉しそうにしていたり、「家族で弁当箱を並べて、みんなの分を詰めたよ」と教えてくれたりしました。この日をさかのぼって事前に栄養教諭が紹介した「おかずレシピ」を参考にするなど、こどもたちの気持ちも高まりながら迎えた日になりました。お弁当を作ってくれる人の苦勞、思いに触れることができた一日でした。

冬休みにむけて～終業式の話より

冬休みにむけて、終業式で校長よりこどもたちに次の3点について話をさせていただきます。

① おうちのお手伝いをしましょう！

冬休みは、年越しという節目の時を過ごすことになります。年末の大掃除をしたり、新年を迎える準備をしたりと、家族みんなが忙しくする時間になりそうです。お風呂の掃除、部屋の掃除、窓をきれいにするなど、家族の一員として「自分の出来ること」を見つけてお手伝いができたらと思います。

② 「新年の決意」～めあてを決めましょう！

新しい年を迎えるにあたり、1年間がんばってみたいこと、取り組んでみたいことについて考えてみましょう。1日〇時間(〇分)は机に向かって勉強、毎朝〇時には自分で起きる、など、自分がこの1年間続けてがんばるということを「新年の決意」として決めてみましょう。

③ 自分の命は自分で守る！

いつも伝えていますが「自分の命は自分で守る」ということを意識してください。冬は路面が凍って転ぶ可能性もあります。そして自動車もいつも以上に気をつけて運転をされますが、スリップなど、道路事情について特に心配な季節です。交通事故に遭わないよう常に考え、意識し、そして行動してください。また、インフルエンザなど感染症も心配されます。手洗いうがいなど衛生面に気をつけ、暖かくして過ごすなど、健康に過ごせるようにしましょう。

1月8日始業式まで長いお休みとなります。普段はなかなかできないことに取り組んだり、家族のために働いたりして、こどもたちには充実した時間を過ごしてくれたらと思っています。今年も大変お世話になりました。よい年をお迎えください。2026年もまたよろしくお願いします。